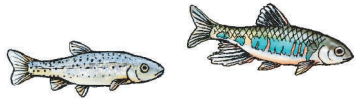
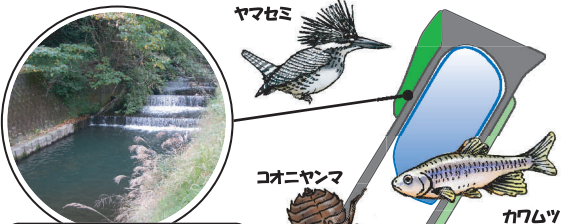


脇田川

わき た がわ



⑧星ヶ峯3丁目と西陵8丁目の間



ポイント①淵の上の樹木
ヤマセミ・カワセミを
確認（休息・狩り）。



ポイント②魚類のすみ家
袋詰玉石工（↑）と下流
側の魚巣ブロック（○）。

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物

● 星ヶ峯3丁目と西陵8丁目の間の環境について(脇田川上流)

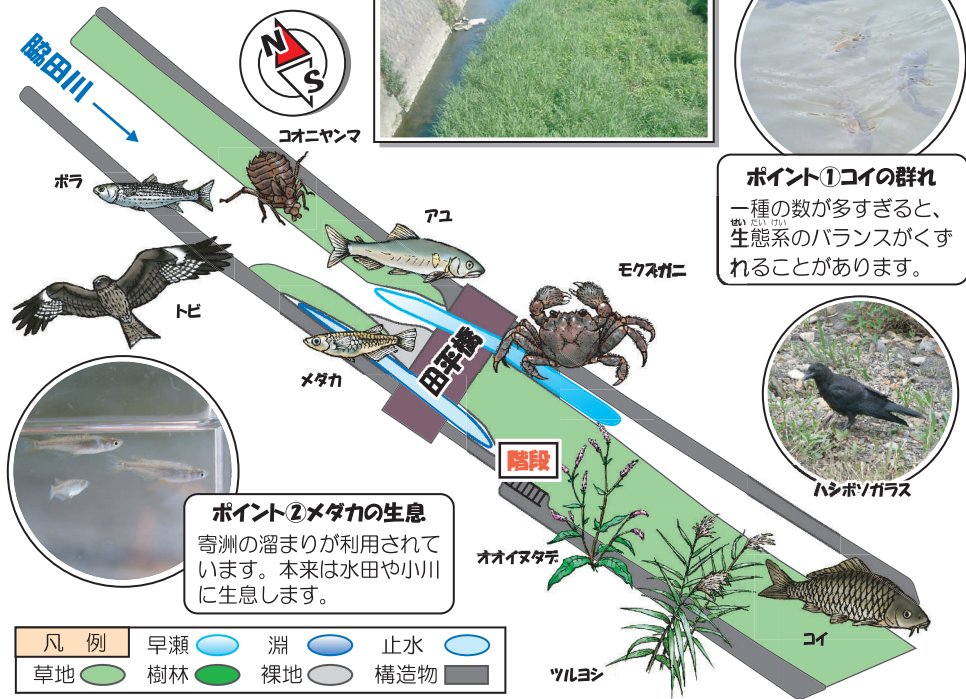
2つの丘陵地に囲まれた、静かな谷間を流れています。河岸の樹林ではヤマセミやヤマガラなど、普段目にしない鳥類が見られ、水際の植物群落ではトンボ類をはじめ多様な底生動物が見られます。しかし上下流に堰があるため、魚類は少なめでした。

脇田川データ

- 源流：五ヶ別府町
- 長さ：約7.3km
- どこを流れているの？
五ヶ別府町、田上町、宇宿町など

脇田川は五ヶ別府町から流れ出し、星ヶ峯地区や西陵地区に挟まれた谷部を流れます。周囲は樹林と耕作地がほとんどですが、広木付近を過ぎると徐々に民家が増え、宇宿地区の市街地を通り、鹿児島湾にそそぎます。

⑨田平橋



ポイント①コイの群れ
一種の数が多すぎると、生態系のバランスがくずれることがあります。

ポイント②メダカの生息
寄洲の溜まりが利用されています。本来は水田や小川に生息します。

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物

● 田平橋付近の環境について(脇田川下流)

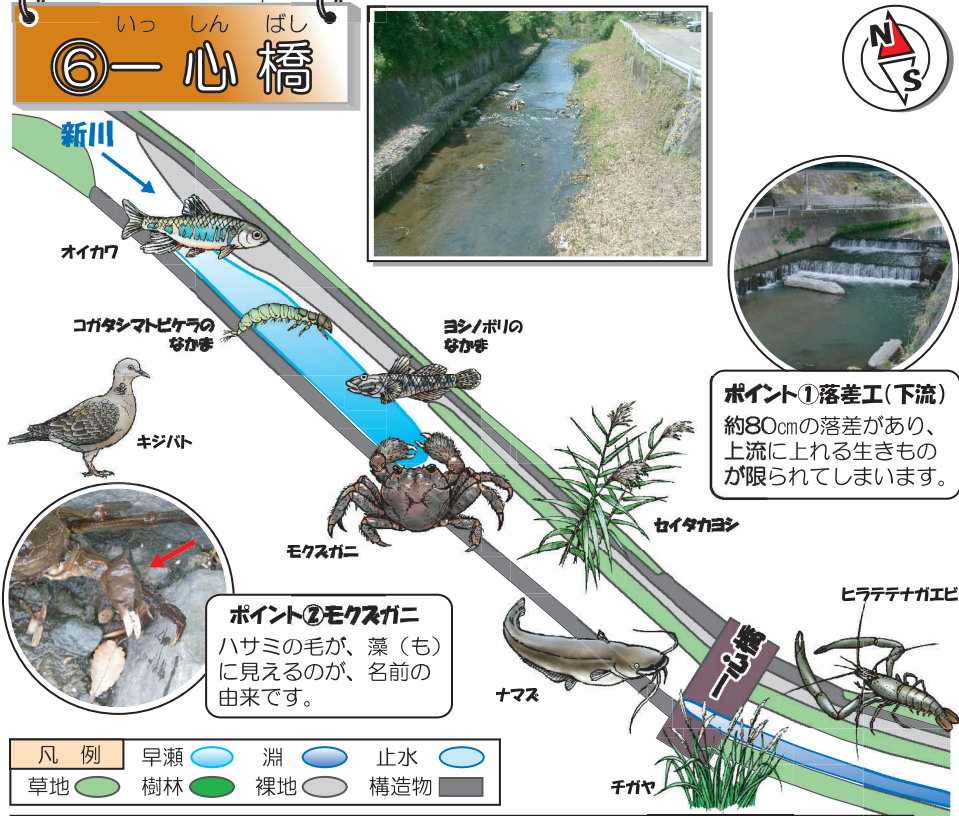
市街地のため、鳥類はスズメやカラス類が中心です。河岸はコンクリートで囲まれているますが、寄洲には止水域（溜まり）が見られ、広大なツルヨシ群落とともに生きものたちの生息環境となっています。ボラやアユに混じり、メダカも確認されました。

新川

しんかわ



⑥ 一心橋



● 一心橋付近の環境について(新川中流)

樹林が近く、多くの魚類も生息していますが、県道や高速道路に囲まれているため、サギ類など水辺の鳥類は利用しにくいようです。水際は草刈りされており、セイタカヨシ群落に保たれています。エビ・カニ類がかくれ家として利用しています。

新川データ

- 源流: 犬迫町
- 長さ: 約12.9km
- どこを流れているの?
犬迫町、小野町、
田上町、郡元町など

新川は田上町や郡元町を流れ、鹿児島湾にそそぎます。川幅が狭いため梅雨期や台風期には河川の増水、氾濫を繰り返してきました。このため、県による河川改修が続いており、また、浸水被害の防止をはかるため、上流にダムを建設する計画もあります。

⑦ 田上小前



● 田上小前の環境について(新川下流)

放流によるコイやアユが目立ちますが、オイカワ、ナマス、メダカなども確認できました。これらをエサとする鳥類(サギ類・カワセミなど)も見かけます。ただし、川の中の石や水際植物が少ないため、稚魚やエビ・カニ類のかくれ家が不足していると考えられます。